

あやべ温泉・ゆず湯

12月22日(金)～26日(火)

※25日の定休日除く

あやべ温泉では、22日から26日まで、冬至にちなんでゆず湯を提供。詳しくは同温泉☎(55)0262へ。

FMIかる紅白歌合戦



12月28日(木)

FMIかるでは28日午前10時から午後6時まで年末特別番組を放送。さまざまな世代が楽しめる楽曲50曲を男女対抗で紹介。紅白の勝敗予想の投票をするだけで、旅行宿泊券など豪華賞品が抽選で当たります。詳しくはFMIかる☎(42)9988へ。

天文館・正月の三三飾り

12月23日(土・祝)・24日(日)

天文館では23、24日の2日間、わらや竹などを使ったしめ縄飾りや小さな門松が作れます。午前10時から午後4時までの間はいつでも受け付け。詳しくは天文館☎(42)8080へ。



元旦寺山山頂国旗掲揚式

1月1日(月・祝)

元旦は、午前7時から日本ボーイスカウト綾部第2団が藤山(寺山)で国旗と市旗、世界連邦旗を掲揚。市民憲章の唱和なども行われ、天気が良ければ山頂から初日の出が見られます。

年末年始の主な催し

年末年始の主な催しと各施設の休館・休業日をお知らせします。

休業・休館	12月							1月						
	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5		
	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金		
市役所	開			休 一部業務は8:30～17:00、日直が受け付け。水道は緊急時に対応				開						
クリーンセンター	開			開 年末特別収集あり(本紙11月号参照)				休						
斎場	開				開 葬儀のみ			休 利用予約のみ 13:00～17:00受け付け		開				
図書館	休	開		休								開		
天文館	休	開		休				開						
資料館	開			休								開		
あいセンター	開			休								開		
上林いきいきセンター	開			休 バス待合室は使用可能				開						
保健福祉センター	開			休								開		
市立病院	開			休 救急対応のみ				開						
あやべ健康プラザ	開			休				開 休						
観光案内所	開				開 待合室のみ								開	
あやべ温泉	休	開								開				
あやべ特産館	開	休	開				休							

安全・安心の

まちづくり綾部市民大会

特殊詐欺の被害防止を呼び掛け

不審な電話は通報を

大会では、綾部警察署の渡邊和彦生活安全課長と桐村智明刑事課長が講演。渡邊課長は10年前と比べ犯罪の件数が約60%減る中、犯罪等への不安を感じる人の割合はあまり変わらないことを紹介。「安

心感を高めるには警察によるパトロールや検挙等に加え、近年性能が向上している防犯カメラ等の機器の設置が必要」と呼び掛けました。

また桐村課長は▽特殊詐欺の被害が市内でも発生していること▽市職員や警察官を装う特殊詐欺の手法▽「不審な電話があった」という通報を受けた時点で警察官がATMへ駆け付けるなど、署を挙げた被害防止体制を整えている

市安全・安心のまちづくり推進協議会と社会を明るくする運動綾部地区推進委員会は11月27日、西町一丁目のTビルで安全・安心のまちづくり綾部市民大会を開催。参加者140人全員で、安全・安心な地域社会の実現に向けた重点目標を大会宣言として読み上げました。

こと」を説明。「自分はだまされなくとも他の被害を防ぐため、不審な電話があればすぐに通報を」などと訴えました。

ポスターコンクール表彰式

同会場では、市内小学校の高学年を対象とした「第4回交通安全啓発ポスターコンクール」表彰式も開催。今年は36点の応募作品の中から、8点の入賞作品が選ばれました。最優秀賞以外の受賞者は次の皆さん。(敬称略)

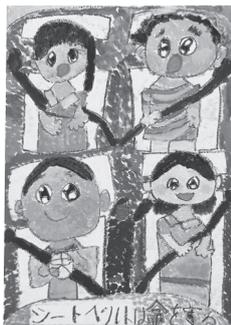
【優秀賞】仲江そらの(豊里小4年)【優秀賞】西口稜真(志賀小4年)【佳作】岩澤茄鈴(綾部小6年)▽畑野福太(志賀小4年)▽村上蒼馬(豊里小4年)▽至田湊美(同)▽大島歩未(同)



▲大会宣言の唱和

▶交通安全啓発ポスターコンクール表彰式

最優秀作品



笹波那奈(豊里小4年)

善聞語録

94



祈りのまち

イスラエルを訪ねた。エルサレム市と本市が2000年に交わした友好宣言に基づきバルカット市長と面談するため、また2003年に始めた「中東和平プロジェクト」について現地の推進母体である遺族会と今後の方向について協議するため出張した。この事業はイスラエルとパレスチナ双方の紛争遺児らを日本に招いて交流を深めることで平和の大切さを実感してもら

認し合った。

イスラエルは私にとって初めての地であり、極めて印象的な旅となった。特にエルサレムは三つの一神教の聖地であり、またパレスチナ問題など政治的にも複雑な難題を抱える。ユダヤ教徒にとつての「嘆きの壁」、イエスが十字架を背負って歩んだという「悲しみの道」、そしてイスラム教徒が拝する「岩のドーム」などがひしめきあう「祈りのまち」。エルサレム。しかし、石灰岩が剥き出しで緑の乏しいこの丘を何世紀もの間、「異教徒」「異民族」が奪い合っている。

趣は異なるが本市の市民憲章の第一項に「平和をねがい、祈りのあるまちにしよう」とある。物の豊かさとともに心の豊かさ、そして平和こそがまちづくりの大前提。聖都を一望するオリブ山に立つと敬虔な気も募り、一為政者として我が故郷の安寧に身を捧げる意を強くした。

山崎善也(綾部市長)



原子力災害に備えて

約3700人が参加し訓練実施



1 避難者に乗せたバスがゲートモニタを通過 2 モニタをくぐり体表面の放射線量を測定 3 スクリーニング検査を受ける住民 4 車両除染プール内でのバス除染作業 5 初めて行われたヘリコプターでの輸送訓練。宮津市の一部の住民が本市まで避難した 6 奥上林公民館では、放射線防護対策設備の稼働訓練を実施 7 市立病院では、原子力災害時の医療措置訓練を行った 8 陸上自衛隊によるカレーライス炊き出し訓練も

VOICE

日ごろから 災害に備えたい

今回は事前に持ち出すものを準備できましたが、災害はいつどこで起こるか分かりません。日ごろから非常持ち出し品や避難手順の確認などを行い、万々に備えることが大切だと感じました。

訓練に参加した
川北育子さん(五津合町)

訓練は、地震により福井県の大飯原発で事故が発生したと想定。同原発UPZ圏内の住民約3400人と約40の関係機関約300人が参加し、避難の手順などを確認しました。市内からは、中上林地区9自治会の住民約120人が避難。バスで中央公民館に向かい、放射線量を測定するスクリーニング検査や除染作業を体験しました。

避難手順を確認

府と本市を含む北部2市2町は11月12日、里町の中丹文化会館をメイン会場に京都府原子力総合防災訓練を行いました。



(仮称)新市民センターの 整備工事始まる

新たな市民センターの整備工事が始まり、11月3日には工事関係者による安全祈願祭＝写真＝が西町三丁目で行われました。総事業費は約21億円で、平成31年度のオープンを目指しています。新施設は鉄筋コンクリート造3階建て、床面積4,660平方メートルで、現在の市民センターと武道館の機能を集約。災害時の避難施設として、全館に空調設備も備えます。

あやバスの時刻を デジタルでお知らせ

市は、あやバス利用者の利便性向上のため、12月4日から電子看板「デジタルサイネージ」の運用を開始。全路線が乗り入れる観光案内所＝写真＝と市立病院に設置しています。看板には路線ごとの行き先や出発時刻、経由地、次便出発時刻が表示されます。



あやバス デジタルサイネージ



中国・常熟市友好代表団が来綾

本市の友好都市である中国・常熟市の友好代表団（陸建達・中国人民政府政治協商会議常熟市委員会副主席など6人）が来綾。11月29日に市役所を訪れたほか、30日には市立病院など市内を視察しました。鷹栖町の東綾小・中一貫校では、“きらきら星”の演奏をしていた小学1年生＝写真＝と「你好（こんにちは）」などと言葉を交わす場面もありました。

くらしを支えた蚕糸業展 —1,300人が来場

くらしを支えた蚕糸業展（同実行委員会主催）が、11月11日から19日にかけて、青野町のグンゼ博物館で開催され、約1,300人が来場しました。会場には、養蚕農家が使っていた農具や民具、生きた蚕、繭から糸を紡ぐ繰糸機＝写真＝などが展示され、使い方などを関係者が熱心に解説する姿も見られました。また初日には、グンゼ本館講堂で京都工芸繊維大学の森肇副学長が講演。遺伝子組み換えによる蚕の新たな使い方等が紹介されました。

